

令和6年 彦根市消防出初式



消防出初式は、例年第一部（表彰式）をひこね市文化プラザで、第二部を（式典）を彦根城大手前保存用地で実施していましたが、今回から**全ての内容をひこね市文化プラザで行います。**

<内容>分列行進、車両行進、幼年消防クラブ員の防火演技、彦根鷹保存会はしご乗り演技、消防車両による一斉放水など

📅 1月6日(土)8:30~

📍 ひこね市文化プラザ（野瀬町）グランドホール

📞 消防本部予防課

☎ 22-0337 FAX 22-9427

みんなで守ろう文化財 - 1月26日は文化財防火デー -

奈良県の法隆寺で大修理が行われていた昭和24年1月26日の早朝に火災が発生し、金堂壁画の大部分が焼損しました。

この火災を契機に、「火災などの被害から文化財を守ろう」という世論が高まり、昭和30年に1月26日を「文化財防火デー」と定められて今年で70回目を迎えます。全国で貴重な国民的文化財を火災・地震・その他の災害から守るため、文化財施設への立入検査や訓練などが行われます。

近年では、フランスのノートルダム大聖堂や沖縄県那覇市の首里城跡復元施設において火災が発生し、貴重な文化遺産が相次いで失われました。

彦根市には、彦根城をはじめ多くの文化財が市内各地に残されています。長い歴史の中で先人たちが守ってきた貴重な文化財を火災などから守り、将来に継承するためにも、次の事項を守りましょう。

▶喫煙マナーをしっかりと守り、文化財の近くでのたき火など火災の原因となる行為は止めましょう。

▶放火対策として、文化財の周りに燃えやすい物を放置せず、整理整頓するようにしましょう。



テーマ展

1月15日(月)まで

「龍一天翔る霊獣一」

信仰されるとともに、めでたい存在として尊ばれた龍。辰年にちなみ、龍を表したさまざまな作品を紹介します。

お知らせ

「開館記念日イベント」

2月11日(日・祝)は開館37周年の記念日です。今年度は当日が休館日のため、以下の日程にて、記念品が当たるくじびきイベントを開催します。ぜひ、お越しください！



▲昨年度のイベント風景

【日時】1月8日(月・祝)8:30~17:00

(記念品が無くなり次第終了)

【場所】講堂

※くじびきへの参加は当日観覧者のみ

講座 私の研究最前線

彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究成果を踏まえて解説します。

「石黒務一明治に活躍した旧彦根藩士一」

明治期に、福井県知事などの地方官僚を勤めた石黒務(いしぐろつとむ、1840~1906)は、他方では井伊家などに関わる資料の収集・考察をしていました。その足跡をさまざまなところに残す彼の人物像を紹介します。



▲石黒務

【日時】2月24日(土)14:00~15:30

【講師】当館学芸員 【場所】講堂

※資料代100円(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着50人、受付は13:30~)

■【休館日のお知らせ】1月16日(火)~2月16日(金)



チケット情報

ひこね市文化プラザ

2月27日(火)14:00 グランドホール

【協力事業】特撰花形落語会

春風亭昇太 林家たい平 二人会

指定 【好評発売中】 小学生以上

S席4,300円 A席3,300円

テレビでおなじみの春風亭昇太・林家たい平が文化プラザの高座に登壇!落語は生が一番!たくさん笑って楽しいひと時をお過ごしください。

プラザフェスティバル2024

2月3日(土)15:00開演	バレエ部門	グランドホール
2月4日(日)14:00開演	演劇部門	メッセホール
2月10日(土)14:00開演	舞踊部門	グランドホール
2月11日(日・祝)14:00開演	クラシック部門	エコーホール
2月17日(土)14:00開演	チャレンジ部門	エコーホール
2月18日(日)14:00開演	邦舞・邦楽部門	エコーホール

自由 【1月6日(土)配布開始】 入場無料(ただし入場整理券が必要)

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)

チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

1月の休館日: 1日(月・祝)~3日(火)、9日(火)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

みずほ文化センター

1月13日(土)14:00 多目的ホール

彦根亭 みずほ寄席

vol.51「新春落語まつり」

指定 【好評発売中】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)

一般 前売:1,500円 当日:1,800円

高校生以下 前売:1,000円 当日:1,200円

<出演>笑福亭晃瓶、笑福亭瓶吾、笑福亭呂好、笑福亭呂翔

「ほっかほかラジオ」でお馴染みの笑福亭晃瓶さん出演の新春落語会です。初笑いは、ぜひみずほ寄席で!



申込・お問い合わせ先

みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)

1月の休館日: 1日(月・祝)~3日(火)、

9日(火)、16日(火)、23日(火)、30日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

相馬永胤と井伊家

明治期以降、彦根出身で、教育や芸術、軍事などの分野で活躍する人材が多数現れました。法曹界・経済界に足跡を残し、今年没後100年を迎える相馬永胤(1850~1924)もその一人です。

永胤は、彦根藩士の相馬右平次家に生まれ、明治4年(1871)に藩費留学生として渡米しました。翌年、西遊留學の一環でアメリカを訪れた井伊直憲(最後の彦根藩主・直安(直憲の実弟、最後の越後与板藩主)の一行をニューヨークで迎え、滞在中の彼らのサポートも務めています。生まれて初めて異国の地を訪れた直憲らにとって、元藩士の永胤の存在はさぞ心強かったことでしょう。

その後、一時帰国した永胤は明治8年に再び渡米し、法学や経済学を学びます。同12年に帰国した後は横浜始審裁判所判事や横浜正金銀行の頭取としての重責を担ったほか、留学先で出会った学友と共に専修学校(後の専修大学)を創立し、初代の校長と学長に就任しました。

また、永胤は西遊留學後も井伊家と繋がりをもち続けています。その様子は、同家に仕えた三居満一へ直安が

送った明治42年の手紙(写真)からうかがえます。当時、直憲は既に亡く、若き直憲が井伊家当主となっていました。

この手紙で直安は、井伊家の相談役3名に永胤が加えられないことを心配しています。候補者である元彦根藩士の中村寛(陸軍中将・三須宗太郎(海軍中将)・相馬永胤のうち、「三須・中村等トハ違ひ面倒ナル議論」をする永胤を嫌う声が井伊家内にあつたためです。書面で直安は、「小生(直安)も同氏(永胤)ニ付而ハ大ニ考慮致候義も有之」(写真4~5行目)と反対意見を理解を示す一方、「相馬氏ヲ除キ相馬以上之人物有ルヤ」と彼を高く評価し、相談役就任を支持する意見を述べています。また、人選をし直すとなれば、「相馬之感情ヲ害スルコトハ免カレス」と彼の気持ちまでも気にかけています。西遊留學以来の間柄であつた直安にとって、永胤は面倒な物言い度々頭を悩ます存在でありつつも、この先の井伊家を導く適任の人材だつたのでしよう。

この後、井伊家内の根強い反発は残つたものの、直安らの尽力もあり、永胤は相談役に就任しました。明治期以降、相馬永胤をはじめ、多くの彦根出身の人材が県外へと活躍の場を広げ、井伊家の支えにもなつていたのでした。

【彦根城博物館学芸員 北野智也】

ときの玉手箱



第328回

●人口と世帯数 (12月1日現在)
人口: 111,183人 (-38)
男性: 55,517人 (+1)
女性: 55,666人 (-39)
世帯数: 50,694世帯 (+12)
※ ()内は前月比

▶彦根市では、点字および音声版広報ひこね(編集版)を発行しています。
☎ 障害福祉課 ☎27-9981 FAX 30-9231
▶外国語版(英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語)の広報ひこね(編集版)を発行しています。
☎ 人権政策課 ☎30-6113 FAX 24-8577
▶廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▶広報ひこねは54,850部作成し、1部当たりの単価は17円(1円未満切り捨て)です。原稿作成・編集などにかかる職員の人員費は含まれていません。